

令和7事業年度

決 算 報 告 書

第21期事業年度

自：令和 7年 4月 1日

至：令和 8年 3月 31日

国立大学法人富山大学

令和 7 事業年度 決算報告書

国立大学法人富山大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	12,552	14,049	1,497	(注1)
うち補正予算による追加	-	539	539	
施設整備費補助金	996	964	△32	(注2)
うち補正予算による追加	-	-	-	
補助金等収入	2,228	2,336	107	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	-	-	-	
自己収入	31,937	32,195	258	
授業料、入学料及び検定料収入	5,517	4,686	△830	(注4)
附属病院収入	26,260	27,143	882	(注5)
雑 収 入	158	365	206	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,655	3,430	775	(注7)
引当金取崩	43	50	6	(注8)
長期借入金収入	1,658	1,658	-	(注9)
目的積立金取崩	3,347	1,542	△1,805	(注10)
計	55,419	56,227	808	
支 出				
業務費	46,759	45,031	△1,728	
教育研究経費	19,425	18,282	△1,143	(注11)
うち教育・研究基盤維持経費	-	539	539	
うち設備災害復旧経費	-	19	19	
うち退職手当	-	411	411	
うち年俸制導入促進費	-	11	11	
診療経費	27,333	26,748	△585	(注12)
施設整備費	2,654	2,534	△120	(注13)
うち災害復旧事業	-	-	-	
補助金等	1,975	1,375	△600	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,655	3,249	593	(注15)
長期借入金償還金	1,373	1,361	△12	(注16)
計	55,419	53,550	△1,868	
収 入 － 支 出	-	2,676	2,676	

※金額は、百万円未満切り捨てにより作成しているため、合計が合わない場合がある。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金の追加配分及び前年度からの繰越額が当初見込みより増加したことによる1,497百万円の増
- (注2) 事業計画の変更による32百万円の減
- (注3) 見込み額を過小に見積もっていたことによる107百万円の増
※補助金等収入には授業料等減免費交付金が925百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用している。
- (注4) 見込みよりも授業料収入が少なかったことによる780百万円の減、見込みよりも入学料収入が少なかったことによる45百万円の減、見込みよりも検定料収入が少なかったことによる5百万円の減
- (注5) 入院及び外来の診療単価の向上、初診患者数の増加等による882百万円の増
- (注6) 公開講座等収益、財産貸付料収入、特許権等収入、有価証券利息等が増えたことによる199百万円の増、予算段階で見込んでいなかった保険金の入金による7百万円の増
- (注7) 外部資金の獲得に努め、受入額が増えたことによる775百万円の増
- (注8) 予算段階で予定していなかった引当金の取崩しによる6百万円の増
- (注9) 差異無し
- (注10) 事業計画の変更による1,805百万円の減
- (注11) 運営費交付金の繰越額が見込みより多かったこと及び消耗品費、修繕費等の執行額が減ったことによる1,143百万円の減
- (注12) 医療機器導入の精査・見直しによる納入時期の繰延べ及び光熱費が当初見込みより上昇しなかったこと等による585百万円の減
- (注13) 事業計画の変更による120百万円の減
- (注14) 事業計画の変更により執行額が減ったことによる600百万円の減
- (注15) 受入額の増加に伴い執行額が増えたことによる593百万円の増
- (注16) 見込み額を過大に見積もっていたことによる12百万円の減

○損益計算書の計上科目と決算報告書の集計区分の相違の概要

- (1) 損益計算書に計上されている人件費は、決算報告書上は業務費に含めて表示している。
- (2) 損益計算書に計上されている支払利息92百万円は決算報告書上、長期借入金償還金に含めて表示している。